

医療法人 鳳生会

藤リハビリテーション学院

令和6年度 学校自己評価

I. 自己評価について

藤リハビリテーション学院では『専修学校における学校評価ガイドライン』（文部科学省：平成25年3月）に基づき、学校評価実施規定を定め、自己評価を行っている。

II. 自己評価の項目

自己評価の項目は以下の10項目とする。

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 教育理念・目的 | 6. 教育環境 |
| 2. 学校運営 | 7. 学生の受け入れ募集 |
| 3. 教育活動 | 8. 財務 |
| 4. 学修成果 | 9. 法令等の遵守 |
| 5. 学生支援 | 10. 社会貢献・地域貢献 |

III. 評価方法

以下の4段階で評価を行う。

- | | | | |
|------|--------|---------|-------|
| 4：適切 | 3：ほぼ適切 | 2：やや不適切 | 1：不適切 |
|------|--------|---------|-------|

IV. 対象期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

V. 各評価項目における取組状況

1. 教育理念・目的

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
学校における職業教育の特色を持っているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

【現状・課題と対策】

・本学院の教育理念、教育目標を明確に定め、学生募集要項やホームページ上に公開するとともに、オープンキャンパスや入学時オリエンテーションに触れることで、学生や入学希望者だけでなく、保護者にも周知できるように対応している。

・本学院の3つのポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）についても策定し、ホームページ上で公開している。

・就職説明会を本学院にて開催するとともに、「社会人としての素養」や「業界から求められること」について外部講師を招聘している。

2. 学校運営

評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	4
人事・給与に関する規程等は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など、意思決定システムは整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切に行われているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

【現状・課題と対策】

・学院運営は教員会議で協議し、重要な案件に関しては法人理事会に諮り承認を受けている。

・運営方針や運営組織を学則に明記している。

・教育に必要な規定は整備され、官公庁および関係団体に関する法令や基準を遵守している。

・情報システム化に関しては随時有用なものを検討し、取り入れているが、活用度がまだ低いことがある。

3. 教育活動

評価項目	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
教育理念、人材育成や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ、実技実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
成績評価、単位認定進級・卒業判定の基準が明らかになっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4
教員の能力開発のための研修会等が行われているか	3

【現状・課題と対策】

- ・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を策定している。
- ・教育到達レベルや学習時間の確保はシラバスに記載するとともに、各講義内で伝達を行っている。
- ・臨床実習指導者会議を本学院が開催することで、現場との情報共有と連携を図っている。また、臨床現場の講師を招聘し、現場の状況を踏まえたアドバイスをいただくことで、カリキュラム、教育内容の見直し、反映を行っている。
- ・授業評価を前期、後期の終了時に実施し、授業の質の向上に役立てている。
- ・成績評価や単位認定に関しては本学院細則の中で明記している。
- ・教員の専門性の高い知識や技能習得のため、学外研修を設けている。
- ・教員のための資質向上や指導力向上に関しては学会参加を促しているが、業務量などにより、参加が滞ってしまうことあった。

4. 学修成果

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
留年率の低減が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生の社会的な活躍および評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への教育活動がなされているか	4

【現状・課題と対策】

- ・本学院で就職説明会を2日間開催するとともに、該当学生数の10倍以上の求人票がいただくことで、就職率は100%を保っている。
- ・第60回（2024年度）国家試験合格率は96.6%であり、全国平均を上回ることが出来た。
- ・2024年度の留年率は0.9%、退学率は4.5%であった。

	学生数	留年者	退学者
1 学年	24	0	1
2 学年	30	0	3
3 学年	30	1	1
4 学年	27	0	0
合計	111	1 (0.9%)	5 (4.5%)

- ・各教員が個別に卒業生の動向を把握するとともに、卒業生を外部講師として招聘することで、卒業後の活躍やキャリア形成に関する情報を得ている。

5. 学生支援

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う体制は整備されているか	4
課外活動に対する体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制は整備されているか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4

【現状・課題と対策】

- ・各教員が協力し、進路、就職に関する支援や指導を行っている。また、学習面や生活面に関しても密なコミュニケーションが取れている。
- ・隣接病院よりカウンセラーを講義に招聘し、スクールカウンセラーとして配置することで学生の精神的相談に対応している。
- ・学生支援機構の奨学金制度を用いており、経済的側面を支援している。また、条件を満たした学生に対して、法人独自の奨学金制度を適用するなどの工夫を行っている。
- ・卒業生に対しても、進路、転職などの就業相談を行っている。
- ・社会人に対する入学試験は実施しているが、ニーズを踏まえた環境の整備には時間を要している。

6. 教育環境

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修について十分な教育体制が整備されているか	4
防災に対する体制は整備されているか	4

【現状・課題と対策】

- ・指定規則上で必要となる備品の整備は完了している。
- ・学院設備に関して、法人内で承認を受け、修繕、改修を実施している。
- ・基礎医学教室や図書室など、学生が自由に用いることのできる部屋を用意している。

7. 学生の受け入れ募集

評価項目	評価
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものになっているか	4

【現状・課題と対策】

- ・ 透明性、客観性をもった資料を作成し、オープンキャンパスやホームページ上での情報公開を行っている。
- ・ 学費を含む、卒業までに必要な諸費用を詳細に計算し、オープンキャンパス時や配布資料にて説明を行っている。

8. 財務

評価項目	評価
中長期的に学校の財産基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備は出来ているか	4

【現状・課題と対策】

- ・ 医療法人として病院経営も行っており、財務は安定している。
- ・ 医療法人の財務情報をホームページ上に公開している。

9. 法令等の遵守

評価項目	評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報保護に関し、その保護のための対策が取られているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

【現状・課題と対策】

- ・ 理学療法士・作業療法士養成施設等学校指定規則を含む、関連法令、施設設置基準を遵守し、適正な学校運営をしている。
- ・ 個人情報に関する誓約書を取り交わし、説明と同意を得ている。
- ・ 学校自己評価を行い、その結果を関係者に開示するとともに、ホームページ上に公開している。

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生ボランティア活動を奨励支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

【現状・課題と対策】

・地域住民に対して、要望のある健康増進事業を実施している。また、この活動には学生を含めて取り組んでいる。

・業界団体、関係団体を経由した講師依頼や派遣業務に取り組んでいる。